

シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第17回

市民的不服従とは何か

市民的意思の表現とラディカル・デモクラシー

Désobéissance civile, expression citoyenne et démocratie radicale

Sandra Laugier

パリ第1大学(パンテオン=ソルボンヌ校) 教授
フランス国立科学研究センター
人文社会科学研究院副学術ディレクター



近年のヨーロッパでは、教育・医療・福祉をはじめ、さまざまな領域で市民的不服従の動きが広がっている。独裁体制下ではなく、民主主義の下で、市民的不服従が起きるのは、なぜか。それは、法の支配に立脚する民主主義を破壊するものなのか、あるいは、民主主義の原点に立ち返る行為なのか。この講演では、現代の諸問題を出発点としながら、ソーローやエマーソンら、19世紀のアメリカ思想に立ち返り、ラディカル・デモクラシーとしての市民的不服従の可能性について考える。

主要著作:

- *Recommencer la philosophie – la philosophie américaine aujourd’hui*, PUF, Paris, 1999.
- *Le souci des autres – éthique et politique du care*, (dir. avec P. Paperman) "Raisons Pratiques", Editions de l'EHESS, Paris 2005.
- *Faut-il désobéir en démocratie ?* (avec A. Ogien), La Découverte, Paris, 2010.
- *J.L Austin et la philosophie du langage ordinaire*, Olms, Hildesheim, 2011.

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

来聴歓迎・予約不要 / 仏語講演(逐次通訳付)

日時: 9月30日(金)

18:30-20:00

会場: 博遠館 305 番教室

共催/
日仏学館研究センター
UMIFRE 19 CNRS-MAEE
CNRS人文社会科学研究院
同志社大学グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp